

◆総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、お客様満足度調査を実施するなど、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

◆総代の任期・定数とその選任方法

(1) 総代の任期・定数

- ・ 総代の任期は3年です。
- ・ 総代の定数は、70人以上160人以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。

なお、令和4年3月31日現在の総代数は94人で、会員数は16,882人です。

(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表者として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで総代の選考は、総代候補者選考を経て選任されます。

- ① 総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ② 選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ 上記②により選考された総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

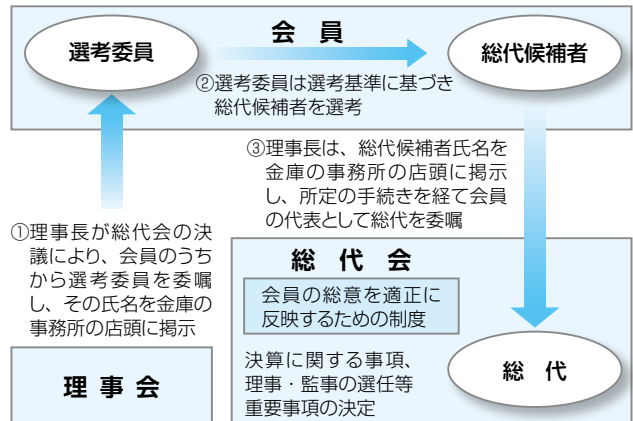
◆総代候補者選考基準

下記の要件を充足し、総代選考委員が適格と認めた人であること。

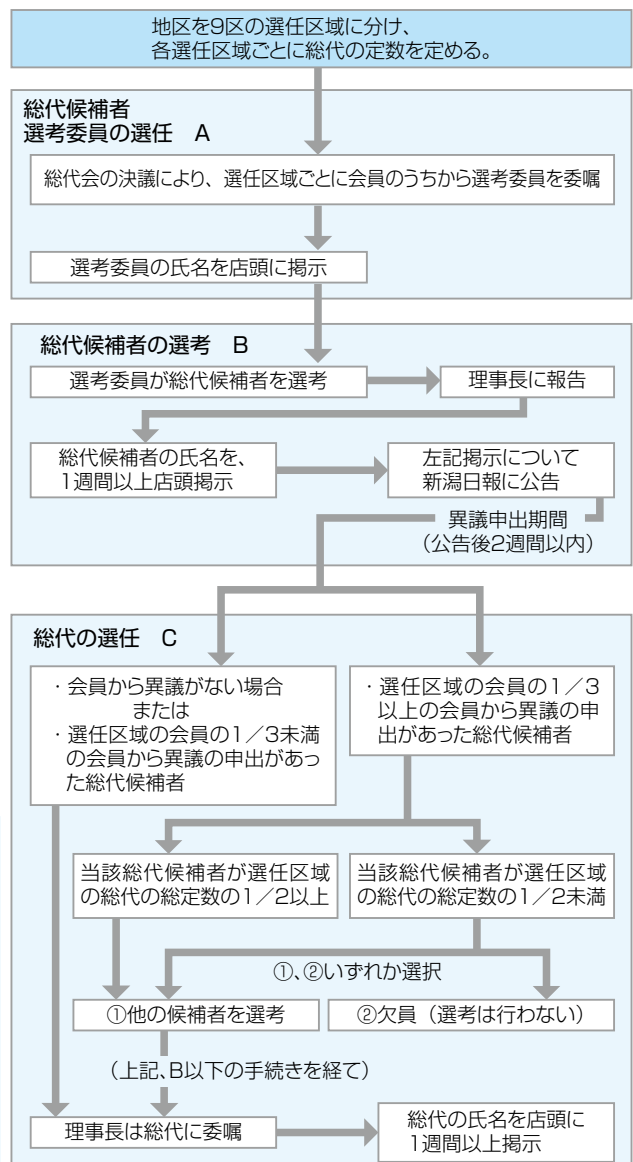
1. 当金庫の会員であること。
2. 就任時点で80歳を超えていない人であること。
3. 地域における信望が厚く、総代として相応しい見識を有している人であること。
4. 良識をもって正しい判断ができる人であること。
5. 人格、識見にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している人であること。

◆総代会の仕組み

<総代会は、会員1人1人の意見を適正に反映するための開かれた制度です。>



◆総代が選任されるまでの手続きについて



◆通常総代会の決議事項

令和4年6月21日 第99期通常総代会において、次の事項が付議されました。

①報告事項

第99期 業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
 店舗統廃合計画の件
 以上の内容を報告いたしました。

②決議事項

第1号議案 剰余金処分案承認の件
 第2号議案 会員除名の件
 第3号議案 理事1名選任の件
 第4号議案 退任理事に対し退職慰労金贈呈の件
 第5号議案 総代候補者選考委員1名選任の件
 以上、第1号～第5号議案はそれぞれ原案のとおり承認可決されました。

◆総代の氏名紹介

令和4年6月21日現在 総数94名

選任区域		人数	氏名
第1区	上越市（直江津地区）	12名	相澤 吉久⑦、稲垣 研二⑤、猪嶋 一男①、江口 修一⑦、大嶋 正寛①、 小林 正夫⑦、笹川 壽一②、高舘 徹①、前川 秀樹②、柳澤 英次⑦、 山岸 匡之②、山崎 邦夫⑤
第2区	上越市（有田地区、 北諏訪地区、頸城地区）	11名	今川 義英⑦、内山 嘉一③、青海 一由③、太田 伸一③、熊木 繁雄①、 土橋 均①、野澤 一三③、萬羽 博文③、福井 俊幸⑦、本山 和之③、 山田 政彦⑤
第3区	上越市（春日地区）	9名	上石 秀一②、磯 久晴⑦、上野 光陽①、風間 正勝⑤、宜春 智正②、 清水 春良③、西山 俊彦③、馬場 照雄①、和久井 衛②
第4区	上越市（高田地区西部、 和田地区）	11名	大嶋 喜久雄⑦、小倉 潔③、佐藤 信②、清水 信博②、常谷 登①、 高野 信平②、高橋 孫左衛門⑦、高林 清茂⑦、松岡 敏宣⑦、 山本 啓一②、横山 亘②
第5区	上越市（高田地区東部）	12名	飯塚 宏佳①、石倉 悟②、上田 滋之③、大島 伸彦③、岡庭 洋一⑦、 加藤 裕三③、高坂 光一①、町田 謙次⑦、真野 耕太郎③、 本山 秀樹③、山口 寿明②、山田 敏則③
第6区	上越市（桑取・谷浜地区、 金谷地区、名立地区）	8名	上野 猛③、大島 富士男③、小菅 江美①、竹田 宏④、塚田 健一①、 原田 秀樹②、古川 泰男③、宮越 拓矢①
第7区	上越市（新道地区、保倉 地区、諏訪地区、津有地区、 三郷地区、高土地区）	9名	梅川 政明③、荻原 潔③、清水 恵一⑦、高橋 正彦①、立入 敏雄④、 中島 浩一②、広瀬 真一③、福田 聖⑦、吉田 巧②
第8区	上越市（八千浦地区、 大瀧地区、柿崎地区）	11名	五十嵐 敏夫②、佐藤 房一⑦、新貝 広太郎①、竹内 誠⑦、 西田 行宏①、三牧 好起①、室岡 賢一③、壘 昭美①、森本 富治①、 柳澤 宣行⑦、渡邊 義孝①
第9区	上越市（吉川地区、浦川 原地区、大島地区、安塚 地区、三和地区、牧地区、 清里地区、板倉地区、中 郷地区）、糸魚川市、十日 町市、妙高市、柏崎市	11名	池田 政広③、岩崎 弘明⑦、岩崎 広記①、大竹 文一①、大月 伸一④、 小野嶋 哲雄⑦、金子 元③、北井 吉雄⑦、小嶋 修⑦、高澤 憲二②、 竹田 義寛⑦

（注）丸数字は総代の就任回数（合併後）

（敬称略）

〔総代の属性情報等別構成比〕

職業別：法人役員 87.2%、個人事業主 11.7%、個人 1.0%

年代別：70代以上 36.1%、60代 42.5%、50代 17.0%、40代 4.2%

業種別：建設業 32.2%、製造業 18.2%、サービス業 12.9%、小売業 10.7%、卸売業 4.3%、飲食業 4.3%、不動産賃貸業 3.2%、
電気工事業 3.2%、製材業 2.1%、医療 1.0%、運輸業 1.0%、教育業 1.0%、宗教法人 1.0%、宿泊業 1.0%、農業 1.0%、
不動産業 1.0%、旅客運送業 1.0%

（注）業種別の構成比は法人・法人代表者及び個人事業主に限る。